

数学科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【数学的な見方や考え方】

思考・判断・表現力等の習得

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の読解力に難のある生徒が多く、「見方・考え方」に分類される問題の正答率の低さにつながっている。</li> <li>基本的な計算や方程式の解法などはよくできているが、時間がかかる生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを活用して授業を進めており、必要事項や注意点などを記入し、家庭学習用の課題プリントに取り組むときの参考にできるようにしている。</li> <li>同じパターンの問題を反復することと同時に、違う形の聞き方の表現にするなどして、読解の練習を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適宜</li> <li>通年</li> </ul>	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元テストで、「数学的な見方・考え方」に関する問題の正答率が極端に低い。</li> <li>単元テストや総括単元テストにおいて、上位層の割合が少なくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>応用問題に対して、グループ活動や教え合いを取り入れ主体的に取り組ませていく。</li> <li>習熟度別少人数授業の充実を図り、理解度に応じた課題に取り組ませていくことで、上位層を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適宜</li> <li>通年</li> </ul>	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の理解度にばらつきがみられた。</li> <li>総括単元テストにおいて、読解力の乏しさがみられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別少人数授業において、生徒に合った学習方法で授業を行っていく。</li> <li>入試の類似問題にも取り組んでいくことで読解力の向上に努めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通年</li> <li>適宜</li> </ul>	

■主体的・対話的で深い学びに関連して

- 1年 自分の考えを他者に伝える機会を増やす。
- 2年 課題提示の工夫、グループ学習の充実
- 3年 課題提示の工夫、応用問題（文章題）への挑戦。

■小中一貫教育共通プログラムに関連して

- 1年 ふり返り等、終末の工夫を行う。
- 2年 ふり返り等、終末の工夫を行う。
- 3年 ふり返り等、終末の工夫を行う。

